

# にぎわいのある まちづくり部

## サマーフェスティバル 遷喬2024

橋尾 泰博

「今年の猛暑は厳しいね。」「夜は寝苦しいし、疲れが取れない。」など、異口同音に異常気象の会話で始まった実行委員会。諸物価高騰の折ではあるが、知恵を出し、地域の皆さんにバーベキューを食べていただき、この暑さをおっ飛ばしましょうとスタートした。

7月20日の当日は、梅雨明けとなるか微妙な天気。準備開始の午後2時頃には雨雲が通過する予報。幸いにも雨雲は日本海を通過し、公民館前は晴天とな



りました。スタッフ一同、汗だくになりながら、バーベキューコンロの配置・炭火起こし、野菜類の調理、歌謡ショーを盛り上げるステージの設営をし、準備完了。午後6時、桶谷副実行委員長の乾杯の音頭でフェスティバルの開会。日が落ちるにつれ、各テーブルの和やかな談笑もビールを飲むごとに弾み、本日のメインイベント、遷喬地区の歌姫「高垣宏美歌謡ショー」と続き、最高潮の盛り上がりとなりました。アンコールもかかり、皆さん大満足の歌謡ショーとなりました。

引き続き恒例の星空観測会は、

公民館の天体望遠鏡を使い、子ども達の夢と好奇心を大切にしていただきました。計画変更にもかかわらず、公民館職員の皆様には、心からの感謝を申し上げます。今年を受付で、箸・取り皿・コップ・おにぎりをお袋に入れてお渡し、お持ち帰り用ゴミ袋に活用できるようにしたところ、例年になく後始末

がスムーズになり大きな改善となりました。

最後に、チケット販売から会場準備のスタッフとしてご協力いただいた地域の方々に、改めて感謝申し上げます。有難うございました。



# お年寄りにやさしい まちづくり部

## NHK鳥取放送局見学

網本 信治

18名の参加者で見学に向かいました。入口をはいって右側に行くと、すぐ「いろどり」のスタジオがありました。テレビで見ると狭い感じでした。

まず女性スタッフより、スタジオの説明がありました。天気予報用の大きな操作画面は、こ

うすれば、晴れ、曇りなどのマークがつけられると説明されました。「いろどり」のキャスターがニュースを放送する場所も案内されました。放送時キャスター

のバックに見える置物もそのままありました。

次に、フロアディレクターの指導のもと、代表の2人がキャスター体験をしました。「いろどり」放送開始の部分を実際に演じるわけですが、音楽のあとキャスターが繋いでいくのはそう簡単ではないようです。

最後に、鳥取市出身の市来秋果アナウンサーより説明がありました。質疑応答では質問が相次ぎました。鳥取放送局勤務を経験したアナウンサーは、大成する方が多いのではという質問もありました。ローカルニュース用のスタジオは別にあるそうです。帰りには、全員がおみやげを頂きました。

まもなく建て替えられるNHK鳥取放送局ですが、花見、たけのこ掘りと同様NHK見学を「まち中歩き」の定番の行事にしてほしいです。

